



自己中。かつてこんな言葉が流行語となっていたことがある。自分のことしか考えていない人のことを言ったのであるが、裏返せば他人を排斥し、または避難する言葉として使われていたように思う。

この問題は日本に限らず、世界の国々でも同様の傾向がみられ、様々な差別問題へと広がりが見せている。とりわけ差別問題となると根が深く、人類がかかえる最大の心の問題なのかもしれない。

「女人成仏」。かつて仏教においてもさえも、女人は地位が低く、また不浄な者として扱われ、救われない対象とされていたことがあるが、「人間みな平等に救われる」世界を、親鸞聖人は大無量寿経に説かれる四十八願の第十八願、「念仏往生の請願」に確かめられている。確かに三十五願には、女性も男性に身を変えて成仏すると説かれた「变成男子(へんじょうなんし)」(いったん女性が男性に身を変えて)といった厄介な思いを抱きかねない願も見られるのだが、基本的には「お念仏を称えるすべての者が救われるという、お釈迦様の確かな願い」が私たちに届けられているのだと信じていきたいところである。

地球上の生きとし生けるものすべてが平等で、幸せに生き続けられることは大変困難な時代かもしれないが、せめて地球上の人間同士は「自己中の思い」の論理だけを正当化せず、互いの命の背景にも心を砕き、話し合い、心の触れ合いを大切にしながら理解し合える社会の実現をしていきたいものである。

海老名 香葉子氏の講演を聴いて

Y M

一月二十四日瑞穂市総合センターにおいて、故林家三平さんの奥様でもあった海老名 香葉子さんの講演 残されたひとりの命「もう一度心優しくお互いさまを」を聴講して心に響いた言葉がいくつもありましたので紹介したいと思います。

八十三歳の、幾多の苦難の人生を乗り越えてこられたその言葉からは、共感できたことも多く、人を思いやる優しさや、人と人が繋がりにあつて生きることの大切さを教えられました。

○病気に成っても病人になつてはならないように。

○どんな話でも聞いてくれる相手がいることの幸せことです。

○幸せができたのは家族がいたからです。

○苦しい時には相手の気持ちを聞いてあげることが大切です。

○子供は宝です。

○親の恩を忘れてはいけません。

○死んだ夫に頼まれたことを守って生きています。

○世界中の人が手を取り合って生きることを望みます。

等、とてもするところを忘れがちになっている大切な思いが改めて確認されたようで、心新たな思いにさせられました。

こうしてご縁がいただけただけにとっても感謝している私です。



春季永代経 二月二十日 春分の日

良いご縁となりますように。 1日参詣お待ちくださいとお祈ります。



生活情報誌 月刊 ぶらざ 2月号

毎年のように掲載していただいております「ぶらざ」さんに今年も掲載していただきました。

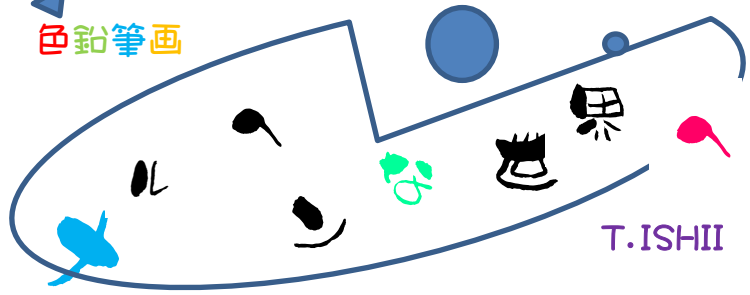


ライトアップ来てくださいね。

三月四日(土)・三月十一日(土)

雨天中止

色鉛筆画



T. ISHII



今月二十五日(土)より開催中の光受寺観梅会に合わせて、羽島市在住のT・さん(ミニギャラリー 聴風庵)において絵画展を開いていただいております。
とても緻密な描写で石井さん独特の世界観が表現されています。
色使いや構図、個人的には雲や、波の描写の巧みさに惹かれています。

一二十数点の作品の中にはご本人がお気に入りの花の絵も何点かありますので、この機会にぜひお楽しみください。



法名と戒名のしちがいの？

よく質問がありますが、**真宗では法名と言います。**
仏法僧の三宝に帰依し、真宗門徒として歩むことによりする人がいたただく名を法名と言います。
戒名とは定められた守るべき戒律を厳守して頂くことにより、戒を授かる(受戒)ことによりです。

聞いてみたいなああなたの思い

- こんな質問がされたらどう回答しますか？
- 残された人生でやり残したことはありますか？
- 幸せが感じられる時はどんな時ですか、また事ですか？
- 自分が頼りにしているものは、何ですか？
- ご自分でご自分の人間像を言い表すならばならば、どのようなことと思いますか？
- いかがでしたか？ご自分を見つめ直す機会にしていただけたなら幸いです。